

新進音楽家の若き才能の輝きを見つけ
人材の育成とクラシック音楽の啓発を目的とするコンクール

第27回

コンセール・マロニエ21

Concert. 21 Marronnier

音楽コンクール
対象部門 ピアノ

本選



第22回(ピアノ) 第1位 田母神夕南

2023年

10月21日(土) 12:30開場・13:00開演
17:45結果発表・表彰式 (予定)

栃木県総合文化センター メインホール

公益財団法人とちぎ未来づくり財団・栃木県

コンセール・マロニエ21



栃木県知事 福田 富一

「第27回コンセール・マロニエ21」の本選が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

「コンセール・マロニエ21」は、若き演奏家を発掘し、今後の活躍を奨励することを目的とするもので、今年で27回目の開催となります。全国から才能あふれる新進音楽家の皆様を、ここ「とちぎ」の地にお迎えして開催できることは大きな喜びであり、日頃の御努力とその成果の発表に心から敬意を表します。

また、栃木県が全国に誇る文化事業である本コンクールを主催する公益財団法人とちぎ未来づくり財団並びに快く審査をお引き受けいただいた審査員長の沼野雄司先生をはじめ、わが国音楽界の第一線で御活躍される審査員の皆様に厚く御礼申し上げます。

今年は栃木県が誕生して150年の大きな節目の年であり、未来に誇れる「新しいとちぎ」づくりに一丸となって取り組んでいるところです。次代のクラシック音楽界を担う人材を育成する本コンクールは、本県文化を将来にわたって発展させていく上で、大変意義のあるものと考えております。

本日御参加いただいた皆様には、本コンクールを機に更に研鑽を積み、日本はもちろん、世界で活躍するトップアーティストとして、再びこの「とちぎ」の地で演奏していただけることを心から期待しております。

結びに、貴財団の益々の御発展並びに本日御出場の皆様の御健勝と益々の御活躍を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。



コンセール・マロニエ21 審査員長

音楽評論家 沼野雄司

昨今の日本を眺めていると、実利主義、とでも言いたくなるような傾向が目につきます。文学など学んでも意味がないから文学部はいらない、むしろエクセルやワードをきちんと使える方が世の中に出てから役に立つ…。そんな類の論調です。残念なことに、この傾向は日に日に増しているようにも感じられます。

そうしたなかであって、音楽、などというのは、もっとも「役にたたない」分野のひとつといえるでしょう。あまり考えたくありませんが、義務教育から音楽の時間が姿を消すのも時間の問題なのかもしれません。

では、われわれは音楽の側から、どのような主張を届けばよいのでしょうか。よく見るのは「音楽は人間の情操を豊かなものにして、社会全体を潤すのだ」といった主張です。たしかにその通りだとは思いますが、しかし情操を豊かにするというのがいったい何を指しているのかはきわめて曖昧です。おそらく、これではクールな「実利派」の心を動かすことはできないでしょう。

わたしはむしろ、音楽は人間の知性を深く開拓する手段だ、と主張してみたいと思います。そもそも古代ギリシャにおいて、音楽は数学や天文学と並ぶ「数学四科」のひとつであり、純然たる学問でした。音楽の作曲、演奏、そして聴取にさえも、知性としか呼びようのないものが必ず必要です。たとえば88の鍵盤を操るピアノという楽器を10本の指を駆使して演奏すること、さらにはそれを十全に味わうことがどれだけ知的な営みなのかは、あらためて述べるまでもないでしょう。

音楽はもちろん感情にも深く働きかけますが、同時に、知性を開拓するこのうえないツールのひとつなのです。人類は数千年にわたって、音楽というものを媒介にして(今のところ、音楽をもたない民族は発見されていません)、独特の知性を育ててきました。これだけユニークかつ楽しい知性開拓の手段を、簡単に手放すわけにはいきません。

本日は、本選に進んだ7人のピアニストが、それぞれの知性を舞台上で炸裂させます。われわれは、その知の軌跡をしっかりと味わい、讃えたいと思います。

末筆になりますが、この素晴らしい企画にかかわる方すべてに深く感謝いたします。



演奏曲目・出場者プロフィール

宮原 雄大



Yudai Miyahara

P.チャイコフスキー作曲 6つの小品 Op.19より「夜想曲」嬰ハ短調
S.ラフマニノフ作曲 ピアノソナタ 第2番(改訂版) 変ロ短調 Op.36

大阪府阪南市出身。10歳よりピアノを始める。大阪芸術大学演奏学科を首席で卒業。同大学院において博士(芸術)の学位を取得。修了時に学長賞受賞。第22回ショパン国際ピアノコンクールin ASIA アジア大会 金賞、特別優秀賞、ソリスト賞。第22回日本演奏家コンクール 第1位。第1回イブラ・グラント・アワード・ジャパン 入賞。The 3rd International Moscow Music Competition 第1位。

第86回読売新人演奏会に出演。

日本演奏連盟「新進演奏家育成プロジェクト リサイタルシリーズ」オーディションに合格。

これまで中務和美、片山優陽、北野完一、木下千代、仲道祐子の各氏に師事。

辰野 翼



Tsubasa Tatsuno

C.ドビュッシー作曲 「12の練習曲」より
第1番“五本の指のための”～C.チェルニー氏による～
第11番“組み合わされたアルペジオのための”
第7番“半音階のための”
第5番“オクターヴのための”
第3番“四度音程のための”

C.サン＝サーンス=F.リスト作曲 死の舞踏 Op.40

神戸市出身。京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻を首席卒業。京都市長賞、京都音楽協会賞。

パリ国立高等音楽院第1～第3課程、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学を卒業。またパリ・エコールノルマル音楽院を満場一致の首席卒業。留学時、「クロード・ドビュッシーの12の練習曲の指使いについて」をテーマに研究。その成果をパリ、東京、神戸で披露し、好評を博した。松方ホール音楽賞、せんがわピアノオーディション最優秀賞及び高橋多佳子賞、Clamo国際ピアノコンクール第4位など国内外で勢力的に活動を行う。リベいらンプレート交響楽団、日本センチュリー交響楽団などと共演。京都市立芸術大学声楽伴奏員。

佐藤 滉海



Hiromi Sato

R.シューマン作曲 アラバスク Op.18 ハ長調
R.シューマン作曲 ピアノソナタ 第2番 Op.22 卜短調
三善晃作曲 ピアノソナタより第3楽章

6歳よりピアノを始める。第2回ヤマハジュニアピアノコンクールC部門第3位、第4回D部門第2位。第19回スガナミピアノコンクール高校生部門第1位。第2回かわさきピアノコンクール高校生部門第2位。第75回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部奨励賞。第12回東京ピアノコンクール高校生部門第1位およびグランプリ。これまでに高関健氏指揮藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。東京藝大ジュニアアカデミー、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、現在東京芸術大学器楽科1年に在学中。ピアノを坂井千春、上原彩子、鈴木美紗の各氏に師事。

津野 絢音



Ayane Tsuno

S.ラフマニノフ作曲 前奏曲 Op.23より
第1番 嬰ハ短調 第2番 変ロ長調
第6番 変ホ長調 第7番 ハ短調
F.ショパン作曲 幻想ポロネーズ 変イ長調 Op.61

2003年生まれ。東京都出身。

東京音楽大学付属高等学校に特別特待生として入学、優等賞を得て卒業。

第69回、72回全日本学生音楽コンクール東京大会第3位。第21回ショパン国際ピアノコンクールin ASIA ソロアーティスト部門アジア大会金賞。Gustav Mahler Prize Piano Competition 2021 Category 9 2nd Prize。第32回宝塚ベガ音楽コンクール第4位。2020年、2022年浜松国際ピアノアカデミー

2023年 Villa Sandra Piano Academy参加。また、Steinway&Sons ライラコンサート、東京音楽大学カワイ表参道サロンコンサート、ウクライナ支援チャリティーコンサート、第91回日本音楽コンクール・ベビシユタイン指定ピアノ記念コンサート等に出演。現在、特別特待生として東京音楽大学2年に在学中。石井克典、仲田みずほ、大崎結真の各氏に師事。

佐川 和 牙



Kazusa Sagawa

R.シューマン作曲 謝肉祭 Op.9
A.グリュンフェルト作曲 《ウィーンの夜会》ヨハン・シュトラウスのワルツ主題による演奏会用
バラフレーズ Op.56

1998年埼玉県生まれ。

東京音楽大学ならびに同大学院修士課程を首席で修了。第21回東京音楽コンクール第1位。第4回Shigeru Kawai国際ピアノコンクール第2位併せて聴衆賞を受賞。第90回日本音楽コンクールピアノ部門第2位。第31回宝塚ベガ音楽コンクール第1位。第15回日本演奏家コンクール最高位。第15回東京音楽大学コンクールにおいて史上最年少で第1位。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール最高位。Carles & Sofia International Piano CompetitionにてGold Hands受賞。2018年第39回霧島国際音楽祭賞を受賞。

東京音楽大学短期留学奨学生としてモスクワ音楽院（ロシア）に留学。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団主催のティアラこうとう定期演奏会に抜擢され好評を博した他、東京交響楽団や東京フィルハーモニー交響楽団等と共演する。

現在、東京音楽大学大学院音楽研究科に在籍し、石井克典、高田匡隆の両氏に師事する傍ら非常勤職員として演奏研究員を務めている。

鴨川 孟 平



Takehira Kamogawa

J.ブラームス作曲 『ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ』変ロ長調 Op.24

第2回藝大ピアノコンクール第1位。第24回イル・ド・フランス国際ピアノコンクール コンサートピアニスト部門《Spiriades》特別賞。第28回日本クラシック音楽コンクール・ピアノ部門高校男子の部第5位。

2022年度東京藝大奏楽堂『モーニング・コンサート』に出演。

これまでに、東京藝大フィルハーモニア管弦楽団、東京藝大ウィンドオーケストラと共演。

藝大校内において宮田亮平奨学金を授与され、卒業時にアカンサス音楽賞、藝大クラヴィア賞、同声会賞を受賞。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部器楽科を経て、同大学院音楽研究科修士課程1年在学中。

江口玲、秦はるひ、小林仁、近藤伸子、小林ゆみの各氏に師事。

石丸 晃 久



Akihisa Ishimaru

F.ショパン作曲 バラード第2番 へ長調 Op.38
F.ショパン作曲 バラード第3番 変イ長調 Op.47
F.ショパン作曲 ポロネーズ第7番「幻想」変イ長調 Op.61

桐朋学園大学音楽学部卒業。現在、桐朋学園大学大学院2年在学中。第43回ピティナ・ピアノコンペティションG級銅賞。第71回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会入選。第24回彩の国埼玉ピアノコンクール中学生部門金賞および埼玉県知事賞受賞。第73回東京国際芸術協会新人演奏会に出演。第29回ブルクハルト国際音楽コンクール第3位。ムジークアルプ夏期国際音楽アカデミーに参加。学内にてStudent's Concert、ランチタイムコンサート、ピアノ専攻卒業演奏会に出演。また、ピアノコンチェルト・コンペティション第3位。福井美沙、武田美和子、中井恒仁の各氏に師事。



審査員プロフィール

審査員長

沼野雄司



Yuji Numano / 音楽評論家

東京藝術大学大学院博士課程修了。博士（音楽学）。現在、桐朋学園大学教授、付属図書館長。2008年から2009年、および2020年から2021年にかけてハーバード大学客員研究員。著書に『音楽学への招待』（春秋社）、『現代音楽史 闘争しつづける芸術のゆくえ』（中公新書、第34回ミュージック・ペンクラブ賞）、『孤独な射手の肖像 エドガー・ヴァレーズとその時代』（春秋社、第29回吉田秀和賞）、『リゲティ、ベリオ、ブーレーズ 前衛の終焉と現代音楽のゆくえ』『ファンダメンタルな楽曲分析入門』（いずれも音楽之友社）、『光の雅歌 西村朗の音楽』（春秋社、共著）、『日本戦後音楽史 上・下』（平凡社、共著）など。国内はもとより、アメリカ、中国、オランダ、リトアニア、ジョージア（グルジア）、アイルランドなど多数の国際学会で発表。また、読売新聞紙上で毎月演奏会批評及びCD批評を執筆する他、神奈川芸術文化財団芸術参与、サントリー音楽賞審査員、アフィニス文化財団専門委員、三井住友海上文化財団専門委員、せたがや文化財団評議員などの各種役員を務める。

審査員

石井克典



Katsunori Ishii / ピアノ

1996年、ニューヨーク・マネス音楽大学大学院をJ・フィーデルマンピアノ賞を得て修了。これまでにソリストとして、プラハ放送響、ニューヨーク・ニューアムステルダム響、カユガ室内管、オハイオ室内管、コスタリカ国立響、読売日響、日本フィル、東京シティ・フィル、九響、大阪響、札幌響、広響、浜松フィル等と協演、日本テレビ「深夜の音楽会」他に出演。ハイドン・イヤールの2009年にはヴィアナ・ド・カステロ国際音楽祭（ポルトガル）に招かれ、ハイドンのピアノ協奏曲へ長調を自作カデンツァで演奏、好評を博す。ヴァイカースハイム国際音楽祭（独）、エンゲルス国際音楽祭（独）、中国の西安音楽学院、ラゴマジョーレ（伊）でのピアノ・サマー・アカデミー等に招聘され、国内外で広くコンサート活動を行うと共に、多くのマスタークラスで後進の指導にも努めている。カリフォルニア国際コンクールピアノ部門（米）審査員。第3回アセアン・ショパン国際ピアノコンクール（マレーシア）審査員。日本音楽コンクール審査員、浜松国際ピアノコンクール運営委員および専門委員、東京藝術大学コンクール審査員を歴任。東京音楽大学教授。

CD：愛の言葉：グラナドス、ストラヴィンスキー、シューベルト（OVCT-00133）
シューベルト：即興曲D.935&ムソルグスキー：展覧会の絵（SONARE1002）

審査員

小池ちとせ



Chitose Koike / ピアノ

東京藝術大学卒業。同大学大学院を首席で修了。野村賞受賞。毎日新聞社主催NHK後援第23回全日本学生音楽コンクールで全国第1位を受賞。ソロだけにとどまらず、室内楽、オーケストラの各分野で意欲的な活動を続けており、NHK-FMの「午後のリサイタル」、「フレッシュコンサート」、「現代の音楽」に度々出演した他、現代音楽家協会主催の「現代の音楽展」、「現代演奏家シリーズ」でも演奏する等、現代音楽の分野にも積極的に取り組み初演作品も多い。コラボレィティブピアニストとしての活動も多彩で、アラン・マリオン、デートマル・キューブルバック、ローランド・セントバリ等内外の著名なアーティストと数多く共演し、オーケストラプレイヤーとしても多くのメジャーオーケストラから絶大な信頼を得ている。野呂愛子、谷康子、アンリエット・ピュイグ・ロジェ、ハンス・ペーター・シュミッツの各氏に師事。現在、武蔵野音楽大学ピアノ専攻及びピアノコラボレィティブアーツコース教授。

審査員

小林 仁



Hitoshi Kobayashi / ピアノ

第25回日本音楽コンクールピアノ部門第一位特賞。1960年第6回ショパン国際コンクールでファイナリスト、奨励賞受賞。ドイツ、バイエルン州政府給費奨学生として、ミュンヘン音楽大学に約3年半留学。ピアノ演奏活動の業績は、リサイタル活動の傍ら40曲以上のピアノコンチェルト、もしくはピアノとオーケストラのための作品をN響をはじめ、国内外の多数のメジャーオーケストラと共演。室内楽活動として、ピエール・フルニエ、ヨゼフ・スーク、ミシェル・シュバルベなど世界第一級の演奏家との共演も多い。日本音楽コンクール、ショパン国際コンクール、ジュネーヴ国際コンクールなどの審査員も務めた。2010年ショパン生誕200年記念の年に際し、ポーランド政府よりアルティスグロリア金勲章を授与される。2016年瑞宝中綬章を叙勲。日本ショパン協会会長、(公財)日本ピアノ教育連盟会長、札幌大谷大学芸術学部学長などを歴任。現在、東京藝術大学名誉教授、札幌大谷大学名誉教授、洗足学園音楽大学特別教授、昭和音楽大学客員教授。(公社)日本演奏連盟常任理事、日本アルバンベルク協会常任理事。

審査員

高橋多佳子



©Shinichiro Saigo

Takako Takahashi / ピアノ

第12回ショパン国際ピアノ・コンクール第5位、第6回ポルト市国際音楽コンクール第2位、第3回ラジヴィウ国際ピアノ・コンクール第1位、第22回日本ショパン協会賞などを受賞。桐朋学園大学卒業、国立ワルシャワ・ショパン音楽院研究科を最優秀で修了。その後10年間にわたりポーランドで研鑽を積む。国立ワルシャワフィルをはじめ、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東響、東京都響など国内のほとんどの主要オーケストラと共演を重ねる。既に23タイトルのCDをリリースし、その多くが“レコード芸術誌特選盤”となる。2010年から《茂木大輔の生で聴く「のだめカンタービレ」の音楽会》全国ツアーに参加。浜離宮朝日ホールでのリサイタルシリーズ《ショパン with フレンズ》(全4回)、《名曲達の饗宴》(全3回)は、各回ともに優れた企画と高い音楽性で絶賛を博した。2021年には東京文化会館小ホールにてデビュー30周年記念リサイタルを開催し大成功を収める。ソロ活動の他に、宮谷理香とのピアノ・デュオ「デュオ・グレイス」、磯絵里子(Vn.)新倉瞳(Vc.)との「椿三重奏団」としても活動。ヨーロッパの著名な国際音楽祭への出演や、中国での公演、ポーランドの《青少年のためのショパン国際コンクール》、ロシアの《ラフマニノフ国際コンクール》に審査員として招聘されるなど国際的なキャリアも築いている。

第27回コンセール・マロニエ21【ピアノ部門】 応募・審査状況

(単位/名)

	計	年齢別内訳 (令和5年4月1日現在)						
		15才~17才	18才~20才	21才~23才	24才~26才	27才~29才	30才~32才	33才~36才
申込者	31	2	6	8	5	6	4	0
動画審査合格者	26	1	5	8	4	5	3	0
オーディション合格者	7	0	2	2	1	1	1	0

結果発表・表彰式

17:45~18:15 (予定)

感動の瞬間に是非あなたもお立ち会いください。

後日、栃木県総合文化センターホームページでも発表いたします。

URL <https://www.sobun-tochigi.jp/>



～コンセール・マロニエ21は若い音楽家を支援します～

2023年度 とちぎ未来づくり財団主催事業

9月17日

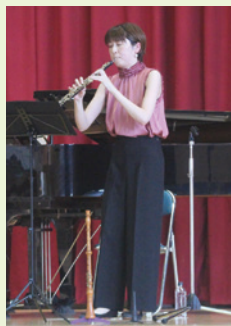


栃木県交響楽団特別演奏会



第26回(声楽/テノール) 第1位 喜納響

9月～11月



学校訪問演奏会
第18回(木管)第2位 山本楓

1月28日 開催予定



フレッシュアーティスト ガラ・コンサート
今回第1位受賞者出演予定
写真は2017年の様子
第22回(ピアノ) 第1位 田母神夕南
栃木県総合文化センター サブホール

『コンセール・マロニエ21』は、広く参加者を募ります(在住地・国籍は問いません)。

第28回

2024年 コンセール・マロニエ21のお知らせ

- | | |
|--|--|
| <p>I 対象 弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)</p> <p>II 日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事前審査受付 2024年 5月～6月 ● 動画審査(第一次) 2024年 7月上旬 ● オーディション(第二次) 2024年 8月17日(土) ● 本選・表彰式 2024年10月26日(土) <p>III 会場 栃木県総合文化センターメインホール
※オーディション・本選のみ(動画審査は非公開)</p> | <p>IV 入賞者支援</p> <p>とちぎ未来づくり財団が主催する各種演奏会への出演機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入賞記念ガラ・コンサート ・ 栃木県交響楽団特別演奏会のソリストとして出演 ・ ランチタイムコンサート、リサイタル ほか |
|--|--|

詳細は2024年3月頃発表の予定です。

上記の開催概要は都合により変更となる場合があります。

● お問い合わせ ●

公益財団法人とちぎ未来づくり財団 文化振興課
〒320-8530 宇都宮市本町1-8 栃木県総合文化センター内
☎028(643)1010 メール tmf@tmf.or.jp

栃木県は若い演奏家を支援します

主催 公益財団法人とちぎ未来づくり財団・栃木県

後援

- 栃木県教育委員会 ● 下野新聞社 ● 朝日新聞宇都宮総局
- 読売新聞宇都宮支局 ● 毎日新聞宇都宮支局
- 産経新聞宇都宮支局 ● 日本経済新聞社宇都宮支局
- 東京新聞宇都宮支局 ● 共同通信社宇都宮支局
- NHK宇都宮放送局 ● 栃木放送 ● エフエム栃木 ● とちぎテレビ

